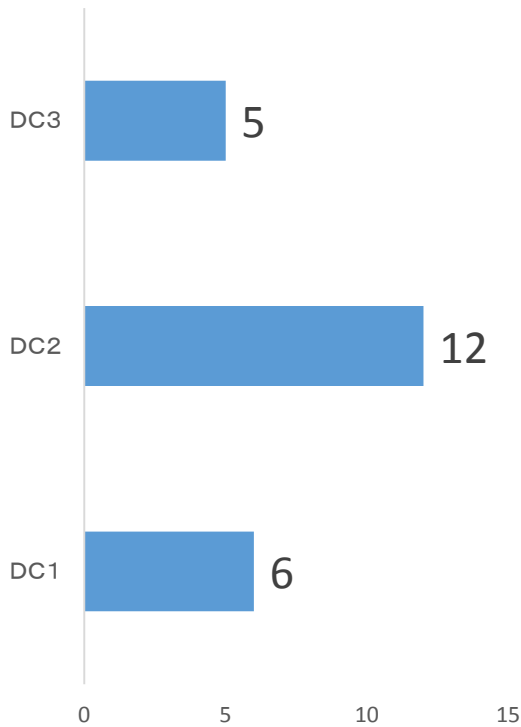


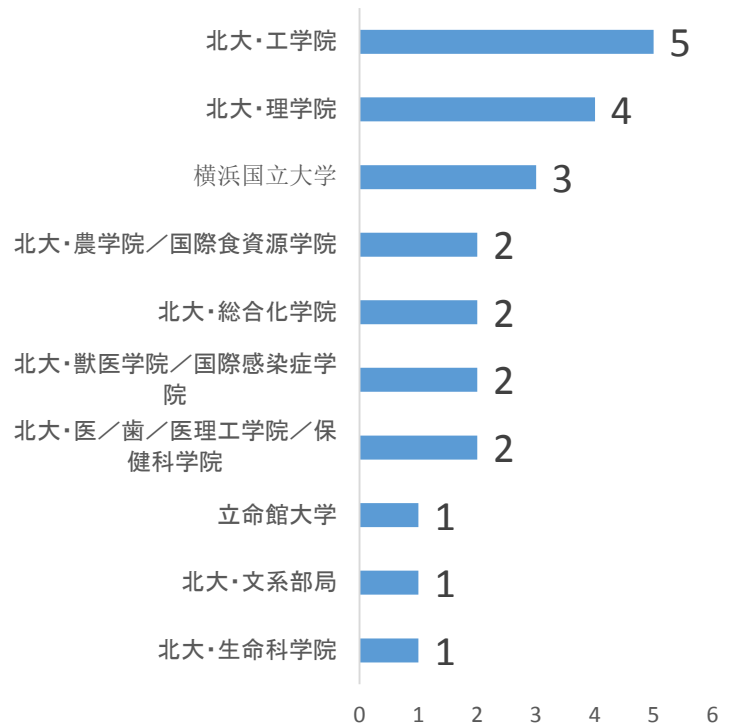
第48回（R3第3回）赤い糸会 アンケート

[1] 回答者：博士人材23名・企業23名（参加者：博士人材23名・企業29社）

博士人材学年

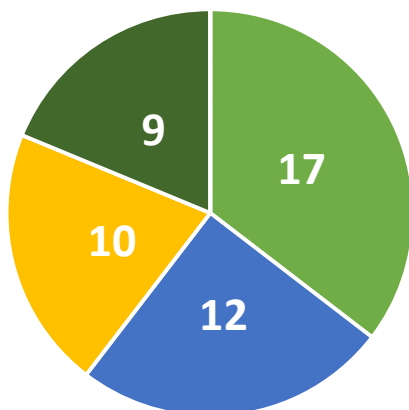


博士人材所属



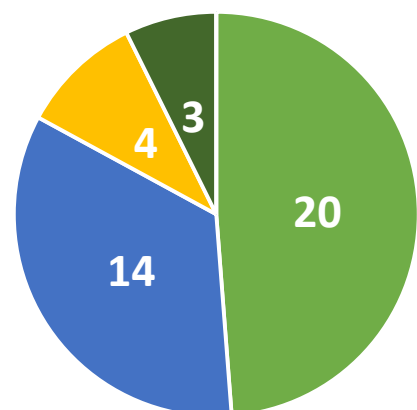
[2] プレゼンテーション動画

アピールできた点（博士人材）



- プレゼン技法
- 専門性
- 人物・個性・特徴
- パワーポイント・動画作成能力
- まったくできなかった
- その他

注目する点（企業）

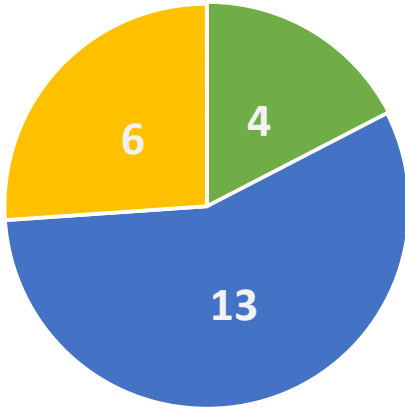


- プレゼン技法
- 専門性
- 人物・個性・特徴
- パワーポイント・動画作成能力
- その他

[3] 企業／博士人材とコンタクトがとれましたか？

連絡先一覧を使用しての企業とのコンタクトについて

博士人材



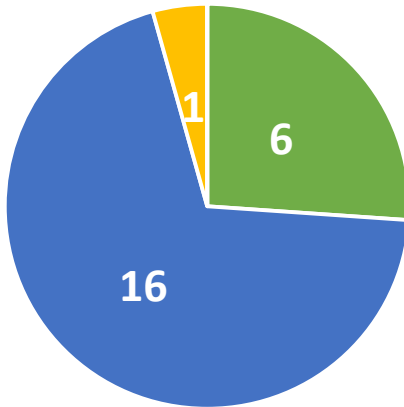
- 1. 十分コンタクトがとれた
- 2. ある程度はコンタクトがとれた
- 3. あまりコンタクトがとれなかった
- 4. 全くコンタクトがとれなかった
- 5. その他

企業



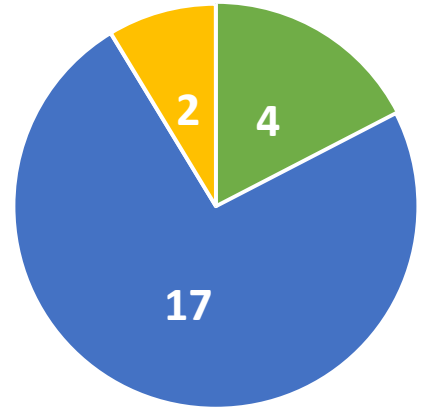
Zoom (個別交流会) での博士人材とのコンタクトについて

博士人材



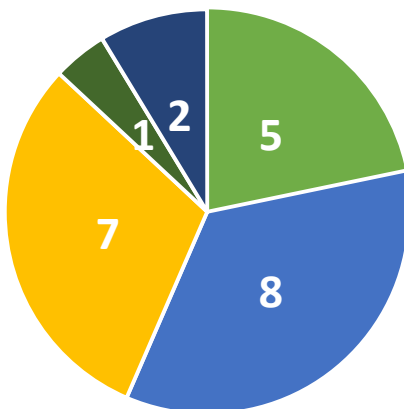
- 1. 十分コンタクトがとれた
- 2. ある程度はコンタクトがとれた
- 3. あまりコンタクトがとれなかった
- 4. 全くコンタクトがとれなかった
- 5. その他

企業



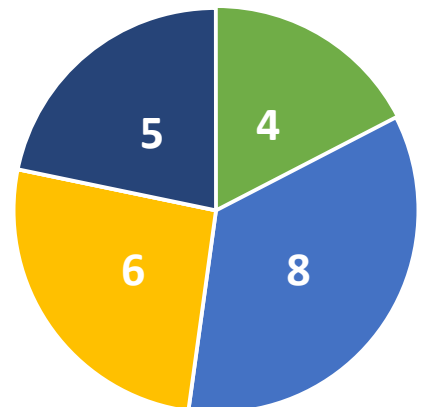
Special Chat (懇親会) での企業とのコンタクトについて

博士人材



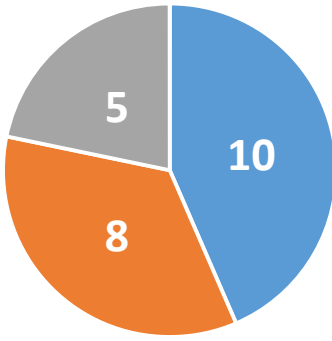
- 1. 十分コンタクトがとれた
- 2. ある程度はコンタクトがとれた
- 3. あまりコンタクトがとれなかった
- 4. 全くコンタクトがとれなかった
- 5. 不参加

企業



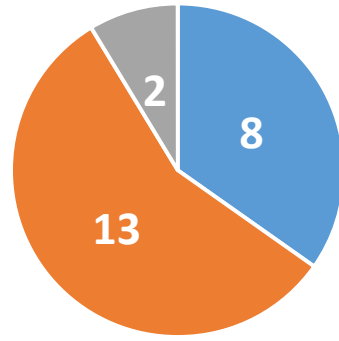
[4] 企業のみ

興味のある博士人材はいましたか？



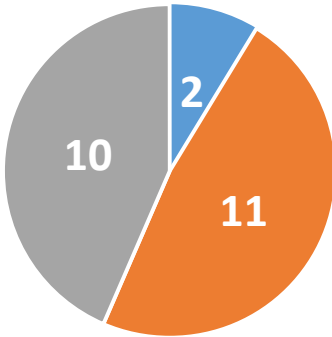
- 1. 興味のある研究内容の博士人材が多い
- 2. 興味のある研究内容の博士人材が少ない
- 3. どちらでもない

参加博士人材に対する今後の対応をお聞かせください。



- 1. 採用したい博士人材がいたので、今後交渉を進めたい
- 2. 採用については未定だが、今後もコンタクトを取りたい博士人材がいた
- 3. コンタクトを取りたい博士人材はいない

インターンシップ(1ヵ月位)について

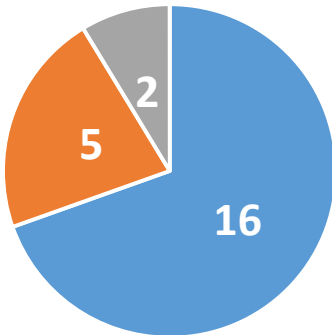


- 1. 受け入れを表明している
- 2. 受け入れてもよい
- 3. 受け入れは難しい

「3.受け入れは難しい」を選択された方:
差し支えなければ、理由をお教えてください。

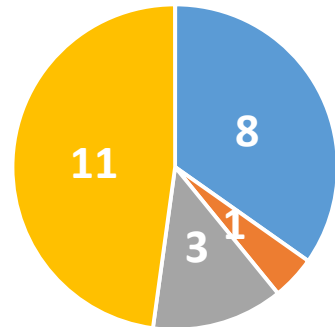
1ヶ月ほどのインターンシップは予定しておらず、コロナ禍ということもあり難しいか と考えております。申し訳ございません。
コロナ感染拡大もあり、対面受け入れ型のインターンシップが難しい状況のため。
長期は難しい。
長期であり、現場の理解が得られないため。
実施時期が夏季のため、D1に限ってしまいそうです。
文科省インターンシップ等、並列して行っている行事があるため個々判断とさせて ほしい。
案件の状況次第ではありますが、現状は難しそうです。

DC採用について



- 1. 定期的に採用したい
- 2. 時期に関わらず、採用したい
- 3. 採用については未定

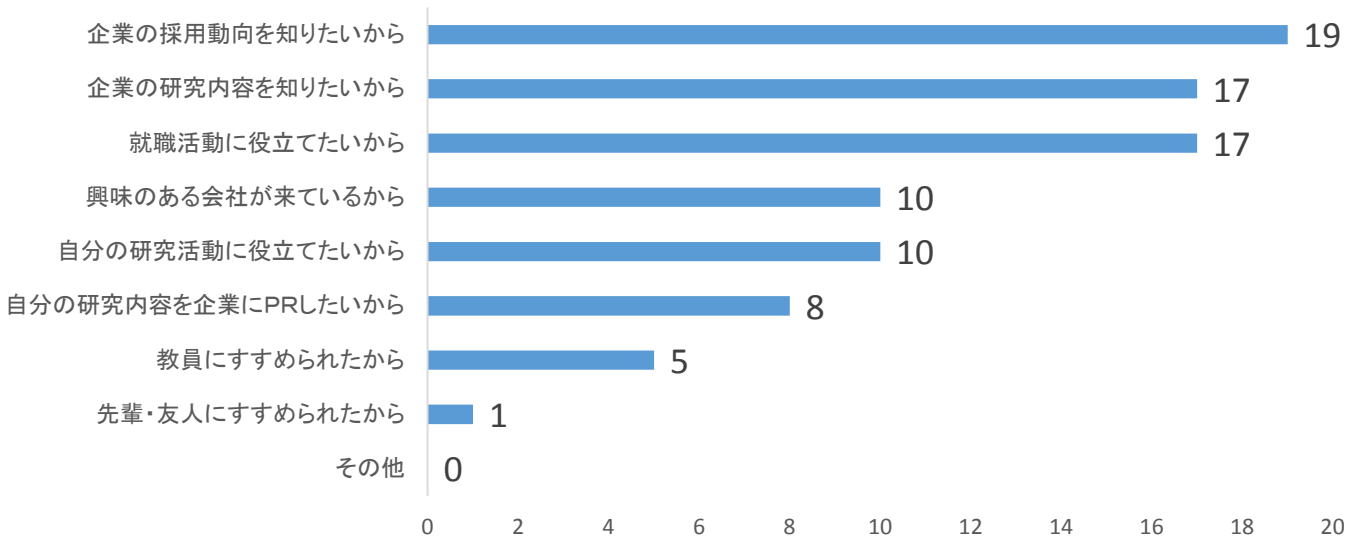
Hi-System(博士人材と企業の双方向ネットワーク)は
どのように利用していますか？



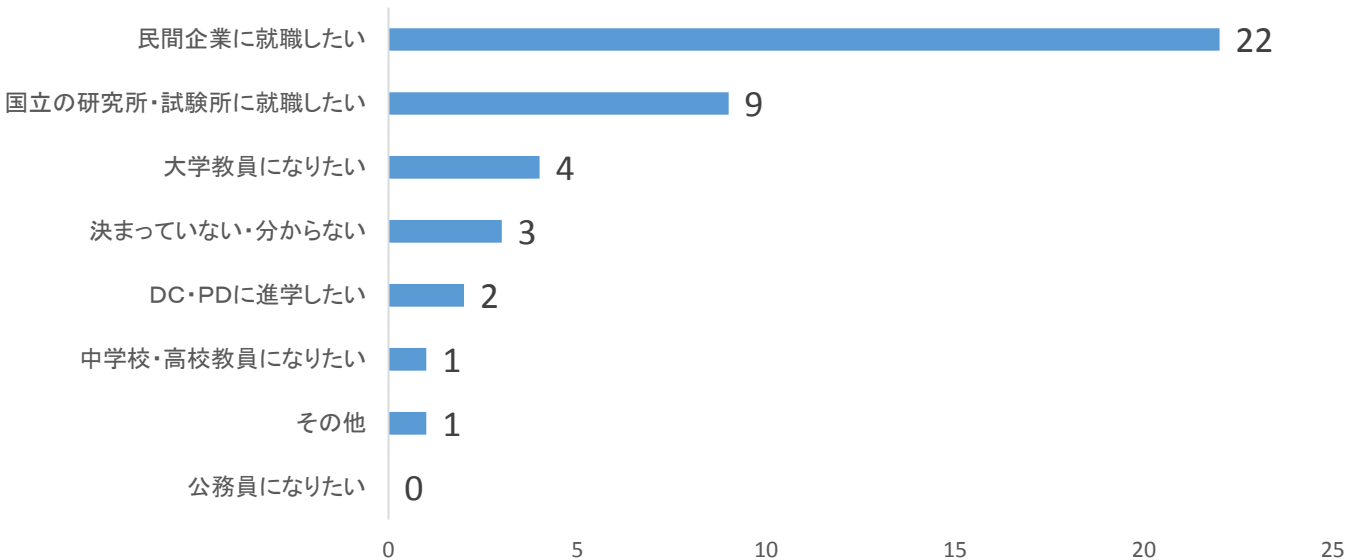
- 1. イベント参加
- 2. コミュニティ
- 3. 博士人材検索
- 4. 利用していない

[5] 博士人材のみ

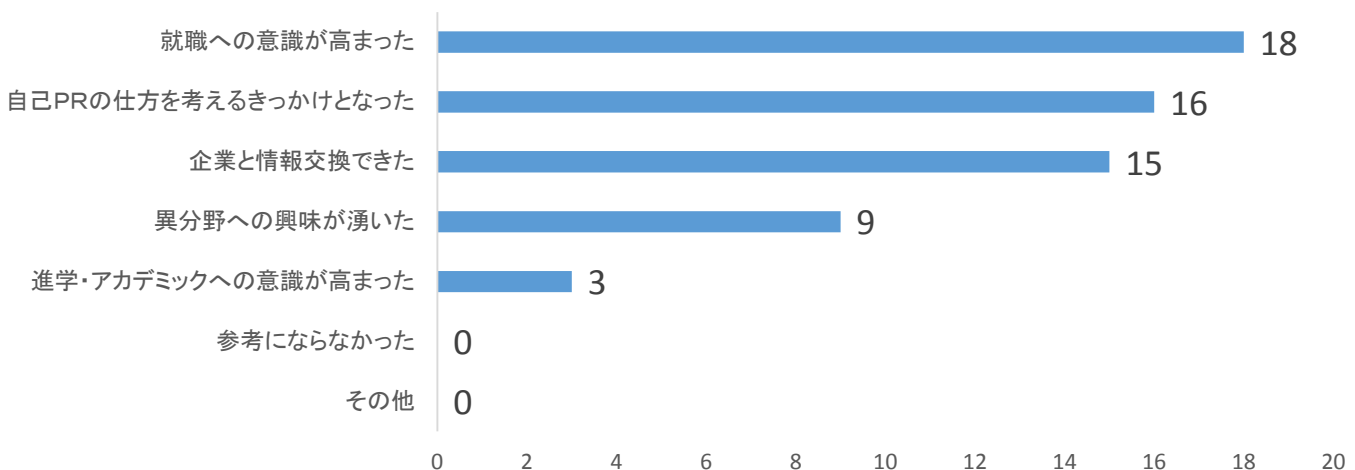
「赤い糸会」への参加理由(複数回答可)



あなたは、今後のキャリアパスをどのように考えていますか？(複数回答可)



「赤い糸会」(赤い糸ONLINE)は、進路決定の参考になりましたか？(複数回答可)

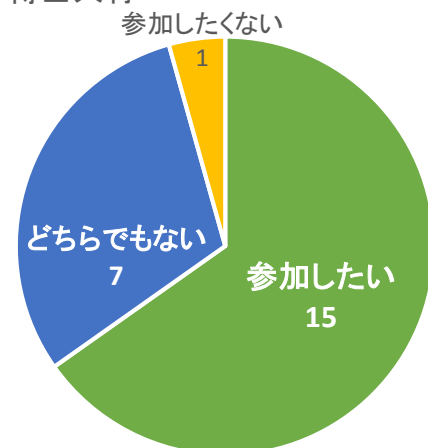


[6] 「赤い系会」(赤い系ONLINE)に参加して新たな気づきはありましたか。それはどのようなことですか。(博士人材のみ)

1	自身の研究テーマ内容についていくつかの機械・製造業の企業からも興味を持って聞いて頂けた。
2	博士課程に求める多くの企業は「開発」に関する部分で人材を求めているということ。
3	20分の間に学生は企業とうまく”マッチング”できると思わないが、短い時間にも企業への印象が変わる。ネットや就活本などから企業のことを知ることより交流が大事だと気づいた。
4	自分が本当に興味がある仕事は何かを考えるきっかけになった。
5	自分の専門分野を活かせる場は思ったより広いことが気が付きました。
6	ある会社を始めて会いました
7	専門より、研究のスキルと知識のほうが重要です
8	数学専攻の企業からの需要が意外にもあると感じた
9	企業就職について漠然としたイメージしかなかったのですが、しっかりしたビジョンが抱けるようになりました。
10	就職活動に対する精神的なハードルが下がった。
11	自分の研究専門性を基にアピールすること、企業に詳しくきくこと
12	専門分野に縛られすぎないことが重要であると感じました。
13	企業によって博士を求める理由がそれぞれあるということ。
14	あまり主張してこなかった点に注目していただけたこと。
15	企業の規模が大きいほど異分野への興味があると感じた。
16	質問の分野をより遠慮しなくてもいい事を気づいた。
17	医薬系企業の参加が多かった前回参加時に比較して、活躍可能な場が非常に多く存在することを実感しました。ZOOMセッション前に個別の面談機会を設けていただい企業様もあり、自己紹介材料の効果が見えたことも良い収穫でした。
18	同じような業種でも会社によって体制や求人に大きく差があることが実感できました
19	圧倒的に私の情報量が少ないことがわかった
20	もっと自身の研究を端的に伝えられる必要がある。隠すところは隠す、出すところは出す
21	企業に向けた自己PRの仕方を考え直す必要に気づき、また以前は知らなかったAIを活用した企業に気づけた。
22	企業の採用担当者は博士号の取得フローを意外と知らない。(在学年数など)

[7] 東北大学・名古屋大学・北海道大学におけるコンソーシアム(全11大学)の取り組みで所属大学以外で実施している本会のようなマッチングイベントに参加可能なことについてどう思いますか？

博士人材



企業



コンソーシアム(全12大学)の取り組みについてご意見がございましたらお聞かせください。

北大の赤い系会は本当に練られたイベントだと思う。他大で実施するイベントについてもとりあえず形をまねるだけではなく、その裏側(学生への教育など)まできちんと模倣していただけるとありがたい。

今後もぜひ続けていただけると良いのではと思います。博士学生の方も、研究ではなく就職関連において他大学の方と交流することで、視野が広がるのではないかと思います。

[8] 今後、博士人材へ期待すること・要望など（企業のみ）

1	自身の専門以外の分野にも興味を持ち、積極的に様々な経験を積んでいただけるといいと思っております。専門分野での研究活動が、企業での他専門の研究活動に活かせる機会も多いかと思えます。
2	博士人材に求めることは、今での専門的な経験を活かし、頼るのではなく自ら活動すること
3	ご自身の専門性をどう企業の研究で活かすのか説明できると非常に有難い。また、自分の専門だけでなく、幅広い視野を持って前向きに取り組める方にぜひ来てもらいたいと思う。
4	博士人材に期待すること: 高度な専門性と研究実務を通じて培った仕事・人のマネジメント力
5	研究能力、対話する能力
6	専門性を生かすことだけでなく、変える・捨てることにも目を向けていただくとよいと思います。これからのご活躍をお祈りしております。
7	特にございません。
8	視点の高さ、自律した研究者として行動力に期待しています
9	深く考える力、自分から仕掛けていく主体性、などに期待しています。
10	デジタル関連のスキルアップ。自分の専門外の幅広い分野への理解。
11	専門性にとらわれずにチャレンジすること、社会の課題を見つけ出し、プロジェクトリーダーとして貢献すること。
12	大学内外で経験できること、自分が興味があることについては、どんどん積極的に経験して言って欲しいと思います。また、赤い糸会に参加するための準備については、非常に重要なことをたくさんやっていると思うので、是非自分のものにしてもらえると、就職活動のみならずその先の社会人生活でも活かせることでしょう。頑張ってください。
13	特に無し
14	引き続き、自身の専門ではない分野にも目を向けて、キャリアの可能性を探っていただきたいなと思います。
15	ご自身のリサーチ能力・専門性を企業でどのように活かせるかのアピール
16	研究能力の向上。専門にこだわらない挑戦。他人と協力し合える共創。
17	自分の研究にしっかりと打ち込んでいただきたい。その中で得た知識、経験、行動力を社会人になっても発揮していただきたい。
18	専門スキルと付随スキルの併用(合成と計算など)
19	カーボンニュートラルをはじめとした、大きな技術変革が求められるフェーズにおいて、高い専門性を生かして技術開発に取り組んでほしい。
20	広く未来を作ること
21	ご自身の強みをどんどんアピールして欲しいです。説明を聞いていてどこがご自身の独自性なのか分かりづらい方もいたため。
22	十分な専門性を有すると共に、専門領域以外においても、主体的に課題の設定と解決ができる人物

[9] 全体を通して、「赤い糸会（赤い糸ONLINE）」についての感想など

博士人材

1	いつもお世話になっております。内容について大変満足しております。
2	この度は多大なるご迷惑をおかけし、大変申し訳ございませんでした。プレゼンテーション演習ができたこと、今まで関係ないと思っていた企業様とコンタクトを取れたことは私にとって非常に有意義な経験でした。本当にありがとうございました。
3	交流会を開催する前に「通年採用を行っているかどうか」の情報を知りたい。秋卒業・特に留学生の方に大事な情報だと思う。
4	全ての企画に参加できるわけではありませんが、いつも企画が面白いなと思っています。マインドフルネスなども今の時代にあっているなと感じました。
5	Zoomでは、最初の1社でみんなが流れの把握、操作など準備不足のため、時間の無駄がありました。もし最初に準備の時間をいただければよかったですと思います。
9	貴重な機会をありがとうございました。
10	企業様の動画を視聴可能な期間がとても短い。すべて視聴したが、有価証券報告書などを調べながら行うと、2日間では収まらない。
12	可能であれば、学生が作るPRシートのようなもので企業側のもの(pdf1ページ程度で事業や求める人材について簡潔に分かるもの)も欲しいです。
13	赤い糸会の開催に関するご連絡を個人的にいただきありがとうございました。今回も大変貴重な経験となりました。また、機会があれば参加させていただきたく思っております。どうぞよろしく願います。
14	2回目が対面だったので、今回も対面を期待していた。
15	学生にとって、日本のさまざまな企業と出会う良い機会だと思います。留学生には難しいかもしれませんが、参加する価値はあると思います。
17	バイオ系の企業がより多くあったらいいと思う
18	毎度、貴重な経験をさせていただいております。ありがとうございます。
19	オンライン開催は体力的にも楽な反面、ビデオ通話は話すタイミングが掴みづらかったりハウリングが起きたりすることがあって少し疲れました。 オンライン開催だと学生側の選択によって企業の話聞きに行く機会は多い反面、企業側から学生へアプローチする手段が交流会前にメールを送ることしかなく、懇親会などで学生が全くいない企業はそれに気づけておらずメールなどコンタクトをとらなかったのでは？と少し気になりました。
21	残念なことに、博士人材の中で、企業の方に無礼と思われるような行動を取られた人がいました。その人のパーソナリティかもしれませんが、一緒にセッションに参加していてヒヤッとしました。
22	昨年度最後の赤い糸会オンラインからやり取りが個別メールのみになる等の変更があり、よりマッチした企業に集中出来るようになって良かったと思いました。
23	企業説明は動画だけでいいので、オンラインポスターセッションをやれば良い。企業の個別交流会を、個別説明会と勘違いしている企業時々いて、20分のうち18分くらい企業説明スライドを見せられたところもあった。これでは意味がない。

企業

1	博士人材のプレゼン動画、当日の進行まで非常に事細かに準備していただき、実りのある時間となりました。20分間だと学生に数名来ていただいた際、質問時間があまり取れなかったもので、1セッションあたり30分程度用意していただいてもよかったかと思います。個人としても貴重な機会を勉強させていただきました。ありがとうございました。
2	昨年よりも多くの人材と交流することが出来ました。また、違う分野の方と交流できたのも面白かったです。会社をどのようにみられているか知るいい機会になりました。学生がやってきたことを聞く時間は設けられなかったのも、改めて参加の際は何をやっているのか交流を進めていきたいです。
3	非常に積極的なご参加者が多く、質問も多く寄せていただき、一方弊社からの質問や話題振りに対しても真摯にお答えいただき、大変有意義な時間となりました。 素材メーカーである弊社とご研究領域が一致する方が少ないのは致し方なしかと思いますが、もしより多くの博士人材のご参加があれば、「この人は気になる！」となる方が増えてくるのではないかと考えます。貴会の益々の隆盛を祈念しております。 また学生様の動画視聴において、当方の動作環境にもよるのかもしれませんが非常に重たく、円滑な視聴に支障がありました。より視聴しやすいよう容量を圧縮するなどご検討いただければ幸いです。

企業

4	参加企業数に対して、学生数が少ないように感じた。昨年もオンライン実施であったが、昨年より少ない印象。また、セミナー実施1か月ほど前に、参加学生の専攻だけでも共有いただけると、当日の質がさらに良くなると思う。例年以上に、バイオ系の学生さんが多いように感じた。
5	対面開催と比較して、交流が限られてしまう中で、気になる学生と効率的に情報交換できました。ありがとうございました。
6	社内ネットワークのセキュリティにより、懇親会に参加できなかったのが残念でした。
7	特にございません。
8	非常に視座の高い、前向きな学生の方が多く驚いています、とても有意義でした。本当にありがとうございます。
9	ありがとうございました。
10	各博士学生と対面ポスターと同じレベルでコミュニケーションとれるとありがたいです。個別のコミュニケーションをTEAMSなどで実施できましたが、広く多くの学生さんと研究テーマを中心としたコミュニケーションを効率的に取るには、現状では対面に劣りました。
11	採用を意識した場合、学生の意識を含めてですが、年末までに終わらせたほうが良いと思います。1月からは修士のマッチングが始まるので博士を特別扱いできなくなります。
12	オンラインイベントの難しさは参加する側としても感じますが、毎回きちんと工夫され、前回よりもよい形でイベントが実施されている点、参加する立場として非常にありがたく思っております。本当にありがとうございます。
13	学生の方々の動画は重い傾向。もう少し解像度を落としても良いように思った。
14	今回の赤い系ONLINEでは、細かなタイムスケジュールや、何ターム目にどの学生が参加するのかの情報を事前に知りたかったです。
15	有意義でした。
16	ONLINEだと、学生の研究について、じっくりと伺う場がないと感じた。動画のみだと、研究プレゼンとしては物足りない。
17	今回、第二部では6回の個別交流会であるが、一つ一つを長くし、回数を減らしても良いのではないのでしょうか？また懇親会に関してはすごし長いと感じた。
18	本年もお世話になりました。
19	全ての学生のプレゼンが素晴らしく、技術的に親和性がない学生との交流も、抵抗なく行える点が良いと思う。
20	学生(+指導教官)・大学・企業(+政府)、相互に目線がそろっていない感覚があり、絵空事の実態のない進め方になっているような気がしています。 もうちょっと目線合わせが必要かなと感じております
21	以前の仕組みですと、イベント当日までにチャットでコミュニケーションが取れたため、事前の情報提供などやりやすかったが、今回はメールのみでしたので、ぜひチャットの復活を次回以降検討していただきたい。
22	何度か参加させていただいていますが、毎回、コンタクトを取りたい博士人材がおり、非常に有意義な会です。今後もぜひ参加させていただきたいと思います。

[9] J-window（人材育成本部担当教員との面談、エントリーシートなどの添削、面接練習）を希望しますか？

